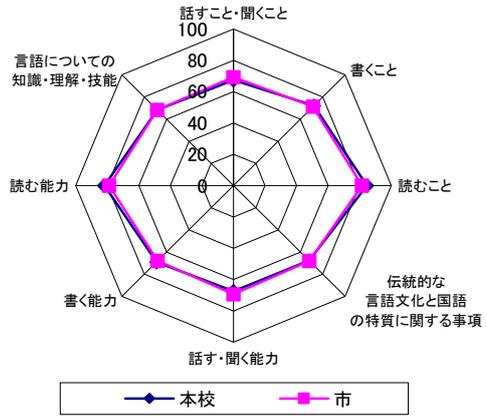


宇都宮市立富士見小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	67.4	69.3	73.4
	書くこと	72.1	71.3	74.6
	読むこと	84.5	81.5	81.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.8	68.1	71.6
観点別	話す・聞く能力	67.4	69.3	73.4
	書く能力	68.9	68.1	71.7
	読む能力	81.8	78.8	79.0
	言語についての知識・理解・技能	68.3	68.4	72.0



※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>○「話し方の工夫を考えながら、話し合いの内容を聞くことができる。」の正答率は82.1%で市の平均を3.6ポイント上回った。</p> <p>○「話し手の意図を考えながら、話し合いの内容をまとめることができる。」の正答率は31.3%で市の平均を1.4ポイント上回った。</p> <p>●「司会者の役割を理解して、計画的に話し合おうとすることができる。」の正答率は88.8%で市の平均を3.5ポイント下回った。</p>	<p>・スピーチや授業中の発言など、友達や先生の話の間際には、話し手の意図を捉えながら聞くよう意識させていく。</p> <p>・司会役を多く経験できるように、幅広いテーマで話し合い活動を持ち、様々な意見をまとめる力や会を進行する力が身に付くようにしていく。</p>
書くこと	<p>○「国語辞典の資料を使って、意見文に書く内容を理解することができる。」の正答率は73.1%で市の平均を6.8ポイント上回った。</p> <p>●「指定された長さで文章を書くことができる。」の正答率は74.6%で市の平均を2.4ポイント下回った。</p>	<p>・友達の意見文の内容を適切に読み取ったり、意見と理由とのつながりのある文章を作成したりする学習を継続していく。</p> <p>・意味調べや漢字の索引など日常的に国語辞書を使う場を設け、慣れるようにする。</p> <p>・児童に親しみのあるテーマを選び、必要な分量を書いて慣れさせたり、文章構成を事前に考えたりするなどして、一定の文字数を書けるように経験を積み重ねていく。</p>
読むこと	<p>○「文章の内容を正確に読むことができる。」の(1)については正答率は83.6%で市の平均を12.2ポイント上回った。</p> <p>●「場面の描写を読み取ることができる。」の正答率は81.3%で市の平均を4.3ポイント下回った。</p>	<p>・説明文では、全体の構成を捉え、段落ごとに正確に内容を読み取るような指導を繰り返していく。</p> <p>・物語文では、場面の様子や情景を、登場人物の台詞や動きなどから細かく読み取ることができるよう指導をしていく。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>○「第5学年配当漢字を書くことができる。」については、正答率に差があり、市の平均より5ポイント以上下回っているものと上回っているものがある。</p> <p>●「敬語(謙譲語)の使い方を理解している。」については35.1%で市の平均を5.7ポイント下回っている。</p>	<p>・画数が多い漢字や、読みが複雑な漢字を中心に、ドリルやまとめテストを行い定着を図っていく。</p> <p>・プリントや教科書の例題を使って謙譲語を復習し、場面に応じた敬語の使い分けができるよう指導を繰り返していく。</p>